

『宇部と俵田三代』(仮題・郷土学習用書籍)の広告募集

会社・団体様へ 宇部市制100周年出版企画実行委員会

多くの皆様方からのご協力で、2021年8月に宇部市制100周年を記念して『村野藤吾と俵田明』を出版出来ました。改めてお礼を申し上げます。

おかげさまで以下のメディアに書評が掲載され、日本各地に宇部の歴史と文化を宣伝できました。

2021年8月18日『中国新聞』、8月22日『山口新聞』、9月11日『東京聞』、9月12日『中日新聞』、10月17日『日本農業新聞』、11月27日『西日本新聞』



さて、出版記念講演会を10月に宇部市立図書館で開催したところ、俵田明の曾孫である林芳正様（現、外務大臣）のご臨席を賜り、会の冒頭で俵田明や俵田寛夫、また村野藤吾が設計した俵田邸（琴芝）について貴重なご講話を戴けました。また、篠崎圭二宇部市長様からも、熱のこもったご挨拶を賜り、大きな反響につながりました。

そこで出版企画実行委員会では、第1部に講演会記録を所収し、第2部では『村野藤吾と俵田明』に所収しきれなかった俵田三代（俵田勘兵衛、俵田明、俵田寛夫）の郷土での産業及び文化振興の実績を「目で見る俵田三代」（写真版年表）として、一冊にまとめることにしました。

本書は2011年に、うべ未来100プロジェクトから出版した『うべ歴史読本』のようなビジュアル重視の郷土学習資料とします。出版後は宇部市内外の小中学校、高等学校、大学、県内の各図書館や関係団体に寄贈し、これからの100年に向けて多くの市民が活用できるようにする予定です。

そこで巻末広告を募集します。企業様、団体様、個人様の区別はございません（ただし広告の並ぶ順番は企業様、団体様、個人様の順となります）。

郷土の再発見と、先覚者たちの再評価に役立つ「宇部と俵田三代」（仮題）の巻末広告にご協賛いただけますと、大変ありがたく存じます。

広告は一口（1枠）「縦8.2センチ、横10.5センチ」（1頁の半分）で5万円です。広告主様には一口につき完成本を10冊進呈させて戴きます（出版は来年の夏～秋を予定しております）。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

2021年冬

《広告代金のお振込先口座》

【口座名】宇部市制100周年出版企画実行委員会

【口座番号】山口銀行宇部支店（店番029）普通預金口座番号5127505

※お振込をされた方はhori.masaaki@qf7.so-net.ne.jpに社名(団体又は個人名)、金額、住所、電話番号をお送りください。振込確認後に受領メールをお送りします。つづいて広告主様には、このメールに返信する形で、広告デザインのご提出をお願いします。

連絡先 090-8067-9676（会長・堀雅昭）